



地区最大のイベントであるドリム庄内、秋のつどいが、10月17日と18日の2日間にかけて行われた。新型コロナウイルス蔓延のため、昨年度まで実施していた防災運動会は中止と



▲コロナ対策として3密回避のため開催時間を長く取った結果、夜の避難所体験が実現！

防災の意識を継承!!
第13回 新しいスタイルで
ドリム庄内が開催

なった。しかし、これまで地区全体で続けてきた防災活動の流れを何とか繋げていきたいという願いを実現させるため、今回はコロナ対策を講じた上で、庄内体育館を模擬避難所として設

館報

庄内

庄内地区
令和2年11月1日現在人口
世帯数 7,058戸
男 7,385人
女 7,376人
合計 14,761人

発行 庄内地区公民館
(ゆめひろば庄内)
電話 24-1811
FAX 24-1812

来場者の声から伝わってくる
体験・体感から学べた
防災への心構え!!

営し、見学や体験の場として実施した。体育館内には、簡易ベッドや簡易トイレ等の体験コーナーや防災業者さんの協力による多種多様な防災グッズの展示、防災DVDの視聴、小中学生の災についてまとめたものが張り出された。さらに2日目は、消防団第6分団の協力をいただき、消防装備の展示や放水ストラックアウトを行った。



●コロナ対策で避難所の収容人数に限りがあることも知り、自分でも色々準備しなければならぬと痛感した。

●自宅の防災グッズを見直したいと思います。
●これだけ広い所でも住民全員の避難は無理だと感じ、各自の備えが必要だと思いました。
●息子に障害があるので、1人の時どこに避難すべきか確認できる機会になり、息子にとっても親である自分も安心できた。
●循環備蓄の考え方の大切さを実感。多くの家庭で防災のことを考える機会となった……と、思う。

来場者の声

●新聞記事を読んで他の地区から見学に来た。自分の地域でもこんな企画を考えてみたい。自分の地区と庄内地区とは地勢が違うので、同じようにできるかは分からないが、話し合いの場を作って考えていきたい。

●壁一面に展示された『我が家の防災』を見て、みんなしっかり考えていて驚いた。帰ったら一度家族で話し合ってみようと思う。



ぼくのすきなベッドランキング! (5歳児の感想)



1 **アルミ保温シート**
「やわらかいし、暖かいから」

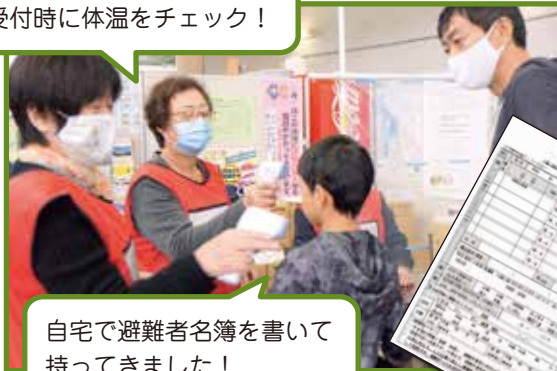


2 **簡易ベッド**
「やらやらする」

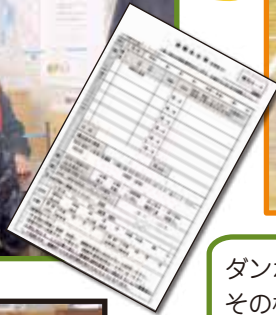


3 **敷きダンボール**
「固いよー」

コロナ対策で
受付時に体温をチェック!



自宅で避難者名簿を書いて
持ってきました!



ダンボールベッドって、
こういう風に組み立てるんだあ!



ダンボールベッドの実物を体験して、
その機能の高さにビックリです!



▲様々な防災グッズは、避難所に備蓄はないので、
各ご家庭での用意が必要です。



▲今は様々な防災食が売っています。

▶ 抽選会の景品も、
防災グッズを準備
様々な



夜間かつ雨の日に来場した。
リアルだった。
体験しないとわからない。



■ **あしがき** ■
今回の館報を編集するにあたり、各委員からは、当日は雨で来場者数が伸び悩んだが、体験からの気付きは大きかったのではといった感想が出された。
今後、このような実際の体験をもとに、防災について考えていきたい。



避難所の雰囲気を子供と共に
見ておくことができました。

消防団の皆さんが、子供にも優しく
放水体験をさせてくれました。

